

## 第2回裾野市中小企業等振興推進会議 議事録

日時 令和4年11月29日(火)

13:30~15:40

会場 裾野市役所地下会議室 AB

出席委員:7名(土屋浩三、堀口綾子、西島隆彦、荻島昭章、長谷川好一、和田智之、  
福澤義明)

欠席委員:5名(中川好大、渡邊昌志、押尾昌俊、石黒貴正、室伏ゆり江)

オブザーバー:静岡県経営支援課

議長:土屋浩三委員 副議長:西島隆彦委員

### <配布資料>

次第、4.協議事項に係る情報及び資料(以下「次第資料」という)、ページ付き資料(以下「頁資料」という)

### 1.報告事項

(1) 裾野市商工会からの要望事項について … 頁資料 P1~P2

口頭で対応状況を報告

(2) 裾野金融同盟会からの提案内容について … 頁資料 P3

口頭で対応状況を報告

### <議長>

- ・ 報告事項について各委員からの意見を伺う。

### <委員 A>

#### 【裾野金融同盟会提案への対応について】

- ・ 6月の提出から約5か月経っているが「検討します」という回答が多い。
- ・ 「このことについてはいつまでにこうやります」という具体的なアウトラインを示してほしい。
- ・ ウーブン・シティと裾野市の中小企業が関与できる体制を作っていかなければならないと感じている。
- ・ 現在、ウーブン・シティと裾野市が話し合う具体的な会議が行われているのか質問したい。

### <事務局>

- ・ 今回は途中報告として口頭での報告となった。
- ・ 今後、具体的な内容を含めて正式に回答する。
- ・ ウーブン・シティ関係事業者が同席する土地利用対策委員会に出席し、要望事項を伝えており、口頭で「検討したい」との回答を得ている。

## 2.協議事項

### (1) 前年度事業の評価指標と事業評価について … 次第資料(1)、頁資料 P5～P8

#### <事務局>

- ・ 前回、各事業を「どのように評価し」、「どのような課題があるのか」との指摘に対して「評価していない」と回答したが、事業ごとに「事業評価調書」を毎年作成していた。
- ・ 頁資料6頁「評価指標」及びその右側の項目により詳細を記載している。

#### <議長>

- ・ この件については前回の会議で事業に対する PDCA サイクル、市の事業評価やその検証について指摘があった事項であった。
- ・ 今回の詳細にわたる説明について各委員からの質問や意見を伺う。  
※ 質疑、意見なし

### (2) ふるさと納税返礼品の拡充について … 次第資料(2)①～②、頁資料 P9～P12

#### <事務局>

- ・ インターネットを介してふるさと納税サイトから申し込む方法(頁資料 9 頁)に加えて、11 月から店舗型ふるさと納税®システムを導入
- ・ すそのブランド認定品にも返礼品登録されているものがある(頁資料 11 頁～12 頁)
- ・ ふるさと納税の増額に結びつくような案があれば提案していただきたい。

#### <議長>

- ・ ふるさと納税をしたことのある委員はいるか(出席委員全員なし)

#### <委員 B>

- ・ 沼津市のふるさと納税の人气が伸びていると聞いた。
- ・ 理由がわかるなら裾野市でもその対応ができないか。

#### <事務局>

- ・ 返礼品写真の見栄えが変わったためと思われる。
- ・ 対応できる事業者はあるが、現在年末に向けての業務が多く依頼できていない。

#### <議長>

- ・ 少しずつでも拡充するような方策の検討を
- ・ すそのブランド推進委員会も努力していきたい。

(3) にぎわいづくりについて … 次第資料(3)①～③、頁資料 P13～P16

<事務局>

- ・ 令和 4 年度当初予算ではイベントの補助金は 0 円であった。
- ・ イベント再開の要望を受け、中小企業振興支援を目的に予算を補正し実施することができた。
- ・ 来場者の推計は、10/9 の阿波おどり 4,000 人、10/15・16 のフェスタすその 18,000 人(2日間)、11/19 の秋花火・農業まつり 12,000 人と盛況であった。
- ・ 今後のイベントのあり方について、「同じイベントの継続実施」「組み合わせ実施」「新たなイベント開催」など意見や提案があれば伺いたい。

<議長>

- ・ イベントの復活や今後の展望を含めて意見を伺う。

<委員 C>

- ・ 今年度のイベントは短期間に集中していたため、開催時期は計画的に設定していただきたい。

<委員 D>

- ・ フェスタすそのと秋花火は一緒にできないかとの考えもある。
- ・ 2 日間開催しているフェスタすその 1 日でも良いのではないかとの意見もある。

<委員 E>

- ・ 市の財政負担(補助金)が減ってはにぎわい創出もうまくいかない
- ・ 当初予算削減が 5 年間だったとのこと、イベントへの補助について市の考え方を聞きたい

<事務局>

- ・ 令和 3 年 10 月に策定した裾野市行財政構造改革第 2 期計画により令和 9 年度の予算編成までに実質単年度収支を均衡させることを目標としている(令和 4 年度～令和 8 年度までの 5 年間)
- ・ 新市長の意向で満額ではないがイベントの補助金を補正することとなった。
- ・ イベントを統合するなど、開催方法を創意工夫しながらできるにぎわい創出について検討しているので多くの意見をいただけるとありがたい。

<議長>

- ・ にぎわい創出のためのイベントは必要との意見が多いように感じる。
- ・ 今年度の実績を基ににぎわいづくりのための予算措置をお願いする。

(4) 中小企業の課題について … 次第資料(4)①～⑥、頁資料 P17～P32

<事務局>

- ・ 資料提供をしたが実際に市内の事業者が何を必要とし、何を課題としているのか

十分に把握できていない。

<議長>

- ・ 中小企業の抱える課題や、市が対応すべきことについてご意見を伺う。

【中小企業の相談窓口の設置について】

<委員 E>

- ・ 中小企業の抱える困りごとに対する定期的な相談窓口を市は設定しているか。

<事務局>

- ・ 相談は随時受けているが、専門的な相談員の確保が難しいため定期的な相談窓口を開設していない。専門的な相談に対しては商工会を紹介している。

<委員 F>

- ・ 商工会でも定期的な相談日の設定はしていないが、巡回や窓口での相談対応を実施している。これらの情報は全戸配布チラシや HP で発信している。

【すそのブランド認定品について】

<委員 G>

- ・ すそのブランド認定品パンフレットは毎年の更新か。
- ・ 労福協メンバーへ周知するためにパンフレットデータを提供していただくことは可能か。
- ・ 労福協には市内に勤務するメンバーが約 8,000 人いるので、優遇措置があるとメンバーに呼びかけしやすい。

<委員 H>

- ・ 認定品の入れ替わりがあるため毎年更新している。
- ・ PDF データで提供可能。商工会 HP でも閲覧可能となっている。
- ・ 優遇措置はない。

<議長>

- ・ 特典を付けることについては検討の余地がある。
- ・ 労福協組織への PR は魅力がある。すそのブランド推進委員会としてもいろいろ検討しながら進めていきたい。

<事務局>

- ・ 労福協のメンバーについてはふるさと納税の PR に関しても魅力的である。

(5) 提言書の提出について … 次第資料(5)

<議長>

- ・ この推進会議では各委員からの活発な意見や提案が多くある。
- ・ これらの意見等を市長に提言書として年度内に文書として提出することを考えている。

<事務局>

- ・ 提言書の提出について、どのような手法で提出するのか検討していただきたい。  
(案1)次回会議で提言内容を検討し、3月末までに代表者が市長に提出する。  
(案2)次回会議で提言書を作成し、市長に会議室に来てもらい出席委員全員同席のもとその場で市長に提出する。

<議長>

- ・ 提言書の提出について意見を伺う。

<委員 I>

- ・ 提言書とするか、要望書とするか。より強い要望書としてはいかがか。
- ・ 次回会議は2月中には開催する必要があると思われる。

<委員 J>

- ・ あらためて要望事項を検討することとなると、裾野金融同盟会からの提案内容とブレてしまうことが考えられる。
- ・ 新たな提案となるとあらためて金融同盟会の意見を集約する必要が生じるため時間がかかると思われる。
- ・ 裾野金融同盟会からの提案に対して市からは具体的な回答を得ていないので、この裾野金融同盟会の提案を踏襲する場合に市はどのように考えるか。

<事務局>

- ・ 裾野金融同盟会からの提案に対する回答は日を改めて提出する。
- ・ 当推進会議からの要望書として、裾野金融同盟会の提案事項ベースに提案事項の取捨選択や肉付けを論議したうえで提出することは問題ないとする。
- ・ 次回会議の日程は2月中旬を目標に各委員の日程調整の上で通知する。
- ・ 開催時間は午後とし、13:30もしくは15:00で調整する。

<議長>

- ・ 推進会議から市に対する要望書を市長に提出することを決定
- ・ 要望書は裾野金融同盟会からの提案そのままではなく、提案をベースとして議論し、肉付けや要望事項の絞り込みなどにより最終的な要望書を作り上げていく。
- ・ 次回会議で要望事項について再度議論するため、当日に市長に提出することは難しいと考えるので、要望書の提出は次回会議後(年度内)となる。
- ・ 次回会議の開催予定は2月中旬の13:30もしくは15:00で調整し、早めに通知をすることとする。